発行日: 2026年10月30日

NEWS LETTER Vol.19　社会福祉法人わかば会

由利本荘市

中央地域包括支援センターだより

木々の葉も色づき始め、秋の深まりを感じる季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。中央地域包括支援センターでは、10月も健康づくりや介護予防、認知症に関する普及啓発など、さまざまな活動を実施しました。今月号では、その様子をご紹介します。

顔の見える関係づくり研修会②　2026



市内およびにかほ市の介護・医療・福祉関係事業所27事業所から、スタッフを含む42名が参加し、多職種連携研修会を開催しました。
当日は、次期介護保険制度の動向について学ぶとともに、定期巡回・随時対応型訪問介護看護「わかば」様よりサービス内容をご紹介いただきました。
その後のグループワークでは、日頃の支援に関する課題や連携の工夫について活発な意見交換が行われ、名刺交換や自己紹介を通じて参加者同士の交流も深まりました。
終始和やかな雰囲気の中、多職種のつながりを強める有意義な機会となりました。
今後も、専門職同士が互いの役割や強みを理解し、それぞれの専門性を活かしながら利用者を支えるための連携を深めていきます。

西目田高地区老人クラブ

田高町内老人クラブにおいて、「歩くことは脳のトレーニングになる」をテーマに講話を行いました。フレイル予防や認知症予防の視点から、歩くことの大切さについてお話ししたほか、握力測定や血圧測定を実施し、健康状態を確認していただきました。参加者の皆さまからは多くの質問や感想が寄せられ、健康づくりへの関心の高さが感じられる有意義な時間となりました。





本荘北中学校　認知症サポーター養成講座

本荘北中学校で認知症サポーター養成講座を開催しました。
認知症や認知症サポーターについて、クイズを交えながら楽しく学んでいただきました。また、DVDを視聴しながら認知症の方への接し方について理解を深めました。
今回の講座が、「自分にできること」を考えるきっかけになれば幸いです。
中央地域包括支援センターでは、認知症サポーター養成講座を随時開催しております。地域や学校、団体などで受講をご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。









由利本荘市中央地域包括支援センター
〒015-0076　由利本荘市東町15　文化交流館カダーレ１階
[営業時間]08：30～17：15　[定休日]土・日・祝日
0184-74-6629
https://s-wakabakai.jp/center/
Instagramで活動報告しています ▶

